



NIPPON BEARING

9月28日付 日本経済新聞広告 解答と解説

【問題】次世代ディスプレイとして注目されているミニLED、大きさはどのくらい？

- ① スギ花粉 ② 砂 ③ 米粒

【答え】②砂

【解説】

テレビ・PC・スマートフォン…、私たちの周りには多くのディスプレイが在ります。長い間、テレビの普及に貢献した《ブラウン管ディスプレイ》、その後登場した《液晶ディスプレイ》は実用的な薄型・大型テレビを実現させ、PCの普及にも一役買うことになりました。ディスプレイは、より鮮明でリアルな画像を映し出せる様に進化することで、私たちの生活を変化させてきました。

そして今、次世代ディスプレイとして注目されている《ミニLED》。

名前の通り小さなLEDですが、一つ一つの大きさは、なんと細かな砂と同じ程度！

数値にすると、 $100\sim 200\mu\text{m}$ ($0.1\sim 0.2\text{mm}$) という微細なものです。

砂は粒の粗さによって大きさが違いますが、 $200\mu\text{m}$ は砂丘等の細かい砂と同じ大きさです。

※砂の粒子サイズの範囲は取り扱い分野により若干異なります。

最大 2mm 以下、最小 $75\mu\text{m}\sim 20\mu\text{m}$ 以上の範囲です。

ちなみに、春に花粉症を引き起こすスギ花粉の粒子は $30\mu\text{m}$ 程度で、更に小さい粒子です。

そのため、スギ花粉が飛んでいる様子を肉眼で見るのは難しいのですね。

LEDは大きさや形を変えることで、照明器具以外の活用をされようとしています。

ディスプレイとして利用されるミニLEDは直接見ることは出来ませんが、小さな縁の下の力持ちが、私たちの生活を快適なものにしてくれることでしょう。

【企画・協力：(株)学研エデュケーショナル】